

No	関連業務	機能分類	機能名	処理（共通要件以外の機能を記載）	処理方式	システム利用者区分		特記事項
						事業者	広域機関	
1	事業者情報登録・変更・削除	事業者情報管理機能	事業者情報照会	・広域機関及び事業者が事業者情報を抽出できること。	オンライン	○	○	
2			事業者情報登録申込	・広域機関及び事業者が事業者情報の登録申込ができること。（添付ファイル含む） ・事業者情報の登録申込にあたっては、利用申請書（Excelベース）記載事項をアップロードすることで登録申込ができること。 ・登録申込の際に、本システムの利用規約の承諾を必要とすること。（画面上でシステム利用規約を表示させ、承諾をした場合のみ登録申込を可能とすること。） ・事業者情報の登録申込を受けた場合、あらかじめ登録している広域機関の担当者にメール通知できること。	オンライン	○	○	・本機能はシステムにログインすることなく利用できること。 ※本機能にて受付し、後続の審査完了後、ユーザIDを発行することを想定しているため。 ・原則は事業者がアップロードして登録申込を実施することを想定 ・事業者情報の項目詳細は、業務詳細設計書の業務仕様書「参加登録：事業者情報の登録の(再)申込」及び主な情報・データ一覧を参照のこと。
3			事業者情報変更申込	・広域機関及び事業者が事業者情報の変更申込ができること。 ・広域機関の審査中は情報の変更ができないこと。 ・審査不要項目の変更申込の場合は変更内容を即時に反映できること。 ・事業者情報の変更申込を受けた場合、あらかじめ登録している広域機関の担当者にメール通知できること。	オンライン	○	○	
4			事業者情報取消申込	・広域機関及び事業者が登録済みの事業者情報の取消申込ができること。 ・取消対象の事業者との間に、容量確保契約の締結済の電源がないことを確認し、対象の電源がある場合には取消申込できないこと。 ・取消対象の事業者に課せられた経済的ペナルティの有無を確認し、清算が完了していない場合には取消申込できないこと。 ・事業者情報の変更申込を受けた場合、あらかじめ登録している広域機関の担当者にメール通知できること。	オンライン	○	○	
5			メール通知要否選択	・事業者が電源情報登録、応札上限値情報登録等の審査結果が出た場合にメールによる通知を希望するか否かを選択できること。	オンライン	○		
6	事業者情報審査	事業者情報審査管理機能	審査申込状況一覧照会	・広域機関及び事業者が各事業者の事業者情報登録の申込中、審査中、合格、不合格等の審査状況を一覧で確認できること。 ・広域機関が利用申請書の申込内容を取込、広域機関及び事業者が申込内容を照会できること。	オンライン	○	○	
7			審査結果登録	・広域機関が申込中の事業者情報について、審査結果を登録できること。 ・審査結果反映前まで登録内容の変更ができること。 ・一覧から審査結果を一括で登録できること。	オンライン		○	
8			審査結果情報反映	・「審査結果登録」にて登録した審査結果情報について反映すること。 ・審査結果情報の反映については、原則、バッチ処理での反映とするが、広域機関が手動で即時に反映することも可能とすること。 ・審査結果が合格である場合には申込中の事業者情報を正式な登録とすること。 ・審査結果情報が反映した際に、自動で事業者ユーザにメール通知できること。 ・審査結果情報の反映日を指定できること。	バッチ・オンライン		○	
9	ユーザ登録	ユーザ情報管理機能	ユーザ情報照会	・広域機関及び事業者がユーザ情報を抽出できること。	オンライン	○	○	
10			ユーザ情報登録	・事業者が利用する管理ユーザ（2ユーザ）及び初期パスワードを自動的に作成し、事業者情報登録の審査結果反映時に、併せてメール通知できること。 ・事業者は管理者ユーザを除きユーザ情報の登録ができること。 ・一括登録が可能であること。	オンライン	○	○	・広域機関は事業者に対し、管理者ユーザ(2ユーザ)を発行し、事業者は管理者ユーザを利用して一般ユーザ（上限10ユーザを想定）を作成する
11			ユーザ情報変更	・広域機関及び事業者がユーザ情報を変更できること。 ・変更した場合に登録済みのメールアドレスに対し通知できること。	オンライン	○	○	
12			ユーザ情報削除	・広域機関及び事業者が登録済みのユーザIDを削除できること。 ・複数の削除を一括して実行できること。	オンライン	○	○	
13			ユーザロック	・一定回数以上誤ったパスワードでログインを試行した場合にユーザをロック（使用不可）にできること。	オンライン	○	○	
14			ユーザロック解除	・ロックを解除できること。	オンライン	○	○	
15			有効/無効切替	・ユーザの有効/無効を切り替えることができること。	オンライン	○	○	
16			パスワード再発行	・パスワードの再発行ができること。（事業者の管理ユーザが同事業者内の一般ユーザへの再発行できること、及び広域機関が事業者の管理ユーザのパスワードの再発行ができること。）	オンライン	○	○	
17			ユーザ登録数上限設定	・広域機関が事業者の一般ユーザ数を設定できること。 ・広域機関がユーザの利用権限を設定できること。	オンライン		○	・本機能を利用して、上限の10ユーザを設定する想定
18	利用権限設定	・事業者の管理者は自社の一般ユーザを作成できる権限を有すること。	オンライン		○	・利用権限の設定内容については、設計工程にて確定するが、事業者の一般ユーザにおいても、応札情報にアクセス可能なユーザを限定する等を想定している。		
19			電源情報照会	・広域機関及び事業者が電源情報を抽出できること。 ・広域機関及び事業者が電源の状態を確認できること。 ・広域機関が、抽出した電源を登録した事業者に対し、メール通知できること。	オンライン	○	○	・電源の状態について、業務詳細設計書の補足資料を参照のこと。

No	関連業務	機能分類	機能名	処理（共通要件以外の機能を記載）	処理方式	システム利用者区分		特記事項	
						事業者	広域機関		
20	参加登録	電源情報登録・変更・削除	電源情報管理機能	電源情報登録申込	・広域機関及び事業者が電源情報の登録申込できること。（添付ファイル含む） ・事業者情報の登録がない場合には登録申込できないこと。 ・広域機関及び事業者が複数の電源情報を一括で登録申込できること。 ・電源情報の登録申込を受付けた場合、あらかじめ登録している広域機関の担当者にメール通知できること。 ・過去の登録情報（申込情報含む）をコピーして新たな電源情報として登録することができること。	オンライン	○	○	・電源情報の項目詳細は、業務詳細設計書の業務仕様書「電源情報の登録・変更・取消：電源情報の登録の（再）申込」及び主な情報・データ一覧を参照のこと。
21				電源情報変更申込	・広域機関及び事業者が、申込中又は登録済みの電源情報について、必要な事項を変更申込できること。 ・一括で変更申込できること。 ・審査中の電源情報は変更できないこと。 ・電源情報の変更申込を受付けた場合、あらかじめ登録している広域機関の担当者にメール通知できること。 ・審査不要項目の変更申込の場合は変更内容を即時に反映できること。	オンライン	○	○	
22				電源情報取消申込	・広域機関及び事業者が、申込中又は登録済みの電源情報について、取消申込できること。 ・審査中の電源情報は取消できないこと。 ・オークション実施中の対象電源に対する取消はできないこと。 ・容量確保契約の締結済み電源がないことを確認し、対象の電源がある場合には、電源差替を実施済み、市場退出または供給義務に対するペナルティの清算が完了していることを確認し、確認できない場合、取消は不可とすること。	オンライン	○	○	
23				電源情報履歴管理	・電源情報の履歴を保存できること。	バッチ・オンライン	○	○	
24	電源情報審査	電源情報審査管理機能	審査申込状況一覧照会	・広域機関及び事業者が電源情報登録申込、電源変更申込の申込中、審査中、合格、不合格等の状況を一覧で確認できること。	オンライン	○	○		
25			審査受付開始	・広域機関が事業者からの電源情報登録申込、電源変更申込に対して受付開始ができること。 ・受付開始後、審査中に状態を変更する。 ・審査中は他の広域機関職員及び事業者は操作できないこと。	オンライン		○		
26			審査結果登録	・広域機関が申込中の電源情報について、審査結果（合格、条件付合格、不合格、無効）を登録できること。 ・審査結果反映前まで登録内容の変更ができること。 ・一覧から審査結果を一括で登録できること。	オンライン			○	
27			審査結果情報反映	・「審査結果情報登録」にて登録した審査結果について反映すること。 ・審査結果が合格である場合には申込中の電源情報を正式な登録とし、電源等登録証明書を発行すること。（取消申込に対する審査結果反映においては、電源等登録証明書の発行は電源等登録証明書の失効として発行すること。） ・審査結果情報の反映については、原則、バッチ処理での反映とするが、広域機関が手動で即時に反映することも可能とすること。 ・審査結果情報反映した場合、事業者ユーザにメール通知できること。 ・審査結果情報反映日を指定できること。	バッチ・オンライン			○	
28	応札上限値情報登録	応札上限値情報管理機能	応札上限値情報照会	・広域機関及び事業者が応札上限値情報を抽出できること。	オンライン	○	○		
29			応札上限値情報登録申込	・広域機関及び事業者が電源情報管理にて登録済みの電源に対し応札上限値情報を登録できること。 ・応札上限値情報はオークション毎（追加オークションも区分する）に必要な項目を入力し申込できること。（添付ファイル含む） ・広域機関及び事業者が複数の応札上限値情報を一括で登録申込できること。 ・事業者が応札上限値情報受付期間のみ応札上限値情報の登録申込ができること。 ・広域機関による審査結果登録までの間の応札上限値情報、及び広域機関の審査の結果、不合格となったものについて、再登録申込ができること。 ・応札上限値情報の登録申込があった場合、あらかじめ登録している広域機関の担当者にメール通知できること。 ・過去の登録情報（申込情報含む）をコピーして新たな応札上限値情報として登録申込できること。 ・応札上限値情報の登録回数を管理し、応札上限値の登録は1回に制限できること。 ・追加オークション用の応札上限値を算出し、初期値として設定できること。	オンライン	○	○	・応札上限値情報の申込をし、審査の結果、不合格となった応札上限値情報の再申込については、応札上限値受付期間を超えて可能とする。 ・応札上限値情報の項目詳細は、業務詳細設計書の業務仕様書「応札上限値の登録：応札上限値の登録の申込」及び主な情報・データ一覧を参照のこと。 ・追加オークション用の応札上限値の算出については、業務詳細設計書の業務仕様書「追加オークションの実施（買入札）：追加オークション参加資格証明書の発行」及び「追加オークションの実施（売り入札）：追加オークション参加資格証明書の発行」を参照のこと。	
30			応札上限値情報変更申込	・広域機関及び事業者が申込中又は登録済みの応札上限値情報について、必要な事項を変更できること。 ・広域機関及び事業者が複数の応札上限値情報を一括で変更申込できること。 ・事業者が応札上限値情報受付期間のみ応札上限値情報の変更申込ができること。 ・広域機関による審査結果登録までの間の応札上限値情報、及び広域機関の審査の結果、不合格となったものについて、再変更申込ができること。 ・応札上限値情報の変更申込があった場合、あらかじめ登録している広域機関の担当者にメール通知できること。	オンライン	○	○		
31			応札上限値情報削除申込	・申込中又は登録済みの応札上限値情報について、削除申込できること。 ・応札上限値受付期間のみ応札上限値情報を削除できること。	オンライン	○	○		
32	応札上限値情報審査	応札上限値情報審査管理機能	審査申込状況一覧照会	・広域機関及び事業者が、応札上限値情報の申込中、審査中、合格、不合格等の状況を一覧で確認できること。 ・広域機関及び事業者が申込内容を照会できること。	オンライン	○	○		
33			審査結果登録	・広域機関が申込中の応札上限値情報について、審査結果を登録できること。 ・審査結果反映前まで登録内容の変更ができること。 ・一覧から審査結果を一括で登録できること。	オンライン			○	

No	関連業務	機能分類	機能名	処理（共通要件以外の機能を記載）	処理方式	システム利用者区分		特記事項
						事業者	広域機関	
34		能	審査結果情報反映	<ul style="list-style-type: none"> 「審査結果情報登録」にて登録した審査結果について反映すること。 審査結果が合格である場合には申込中の応札上限値情報を登録とすること。 審査結果情報の反映については、原則、バッチ処理での反映とするが、広域機関が手動で即時に反映することも可能とすること。 審査結果情報反映した場合、事業者ユーザにメール通知できること。 審査結果情報反映日を指定できること。 	バッチ・オンライン		○	
35	メインオークション・追加オークション（買い入札/売り入札）の実施	応札管理機能	オークション参加資格証明書発行	<ul style="list-style-type: none"> 広域機関が、特定のタイミングでオークション毎にオークション参加資格証明書（電源単位）を発行できること。（発行した旨のメール通知含む） オークション参加資格証明書の発行対象者は、原則、対象オークション毎に発行時点で応札上限値が登録されている全ての電源に対し作成することができること。 参入ペナルティの対象者には発行しない、特定の電源のみ参加証明書を発行する等の制御ができること。 	バッチ・オンライン		○	<ul style="list-style-type: none"> メインオークションの参加資格証明書の発行については、業務詳細の業務仕様書「メインオークションの実施：メインオークション参加資格証明書の発行」を参照のこと。 追加オークション（買い入札）の参加資格証明書の発行については、業務詳細の業務仕様書「追加オークション（買い入札）：追加オークション参加資格証明書の発行」を参照のこと。 追加オークション（売り入札）の参加資格証明書の発行については、業務詳細の業務仕様書「追加オークション（売り入札）：追加オークション参加資格証明書の発行」を参照のこと。
36			オークション参加資格証明書失効	<ul style="list-style-type: none"> 広域機関が、オークション毎に発行したオークション参加資格証明書に対し、失効させることができること。 	オンライン		○	
37			応札状況管理	<ul style="list-style-type: none"> 事業者が応札対象となっているオークションを照会できること。 オークション毎に応札状況（応札受付中・開札中・開札・落札）を任意に確認できること。 応札受付開始、応札受付終了時にメール通知できること。 	バッチ・オンライン	○	○	
38			応札情報照会	<ul style="list-style-type: none"> 事業者管理者ユーザ及び事業者一般ユーザは、自社の応札情報を照会できること。 広域機関管理者ユーザは、全ての応札情報を照会できること。 広域機関一般ユーザは、応札情報のうち、応札した事業者、応札した電源情報、応札日時のみ照会可能とし、kW容量、kW価格は照会できないこと。（kW容量、kW価格をマスキングする対応でも可） 応札情報のうち、少なくともkW容量・kW価格について暗号化して保存できること。 	オンライン	○	○	
39			応札情報登録	<ul style="list-style-type: none"> 事業者がオークション参加資格証明書が発行されている電源から応札できること。 選択した電源に対し、kW容量、kW価格を入力のうえ、応札できること。 応札上限値を超えたkW容量を応札できないこと。 入札上限価格を超えたkW価格を応札できないこと。 複数電源を一括して応札できること。 応札受付時刻についてミリ秒単位で付与すること。 応札を受け付けた旨、対象のユーザにメール通知できること。 	オンライン	○		
40			応札情報変更	<ul style="list-style-type: none"> 事業者が登録済みの応札情報から変更する応札情報を選択できること。 選択した電源に対し、kW容量、kW価格を変更のうえ、応札できること。 応札上限値を超えたkW容量を応札できないこと。 入札上限価格を超えたkW価格を応札できないこと。 複数電源を一括して変更できること。 応札受付時刻についてミリ秒単位で付与すること。 応札を受け付けた旨、対象のユーザにメール通知できること。 	オンライン	○		
41			応札情報削除	<ul style="list-style-type: none"> 事業者が応札受付中に限り自社の応札情報を削除できること。 複数応札情報を一括して削除できること。 削除した旨、対象のユーザにメール通知できること。 	オンライン	○		
42			応札情報出力	<ul style="list-style-type: none"> 広域機関が応札情報を復号化のうえCSV形式でファイル出力できること。 出力順はkW価格の安い順、受付順で出力できること。 	バッチ・オンライン		○	<ul style="list-style-type: none"> 出力項目については設計工程にて確定するが、事業者名等、事業者を特定する情報については出力対象外とすることを想定している。
43			応札情報履歴照会	<ul style="list-style-type: none"> 広域機関及び事業者が応札情報履歴を照会できること。 	オンライン	○	○	
44			オークション結果取込	<ul style="list-style-type: none"> オークション結果（落札できなかった情報も含む）をCSV形式で取込できること。 オークション結果を取り込み、応札情報との整合が取れているかどうかを確認できること。 オークション結果を対象のユーザにメール通知できること。 	バッチ・オンライン		○	<ul style="list-style-type: none"> 取込項目については設計工程にて確定する。
45			オークション結果照会	<ul style="list-style-type: none"> 広域機関及び事業者がオークション結果を照会できること。 	オンライン	○	○	
46			オークション結果管理	<ul style="list-style-type: none"> オークション結果と応札上限値情報を紐づけて管理できること。（電源の履歴として、参加したオークション、その結果について併せて管理できること。） 	オンライン		○	
47			落札結果作成	<ul style="list-style-type: none"> 広域機関が、任意のタイミングで落札結果を作成することができること。 	オンライン		○	<ul style="list-style-type: none"> 落札結果の内容については、業務詳細の業務仕様書「情報公開：情報公開内容の作成、情報公開における通知」及び別紙6.「主な帳票・ファイル一覧」を参照のこと。

No	関連業務	機能分類	機能名	処理（共通要件以外の機能を記載）	処理方式	システム利用者区分		特記事項	
						事業者	広域機関		
48			契約締結結果作成	・広域機関が、任意のタイミングで契約締結結果を作成することができること。	オンライン		○	・契約締結結果の内容については、業務詳細の業務仕様書「情報公開：情報公開内容の作成、情報公開における通知」及び別紙6.「主な帳票・ファイル一覧」を参照のこと。	
49	メインオークションの容量確保契約・追加オークション	容量確保契約の締結	容量確保契約管理機能	契約書作成	・契約条件を記載した契約書フォーム（ひな形）に、落札結果を自動で取込及び経過措置を考慮した支払額を計算したうえで、契約書を作成（PDFフォーマット等）できること。 ・容量確保契約の作成完了後、落札事業者に確認依頼のメール通知ができること。	オンライン		○	・変更契約書、解除合意書を含む。
50				契約書確認	・広域機関及び事業者が「契約書作成機能」で作成した契約書を確認できること。 ・事業者が契約書の確認結果（承諾or修正依頼）を広域機関に対し申告できること。 ・広域機関が事業者の確認結果を確認した旨申告できること。	オンライン	○	○	
51				契約書修正	・広域機関が「契約書作成機能」で作成した契約書を修正できること。 ・容量確保契約の修正完了後、落札事業者に確認依頼のメール通知ができること。	オンライン		○	
52				契約書削除	・広域機関が「契約書作成機能」で作成した契約書を削除できること。	オンライン		○	
53				契約締結	・広域機関が事業者との契約締結完了後、完了した旨の記録ができること。 ・広域機関が完了記録をした後、事業者にメール通知できること。	オンライン		○	
54				契約保管	・広域機関が締結した契約書について、契約満了後10年間保管できること。 ・広域機関が締結した解除合意書について、契約満了後10年間保管できること。	オンライン		○	
55				契約書検索	・契約書について、契約締結日、容量確保対象年度、相手先、金額等で検索ができること。 ・契約締結日及び金額については、範囲指定して検索できること。 ・複数項目によるアンド検索ができること。	オンライン		○	
56				契約状況管理	・契約状況について、広域機関作成、事業者確認、広域機関確認、事業者確認、広域機関署名、事業者署名等、状況を把握できること。また、契約中、解約済み等の状況も把握できること。 ・広域機関が契約情報をファイル出力（PDFフォーマット等）できること。	オンライン	○	○	
57				履歴管理機能	・契約書に対する変更履歴を管理できること。	オンライン	○	○	
58				契約対象電源照会	・広域機関及び事業者が容量確保契約を締結中の電源を照会できること。 ・広域機関が容量確保契約を締結の容量の合計、及びメインオークション後の電源毎の退出容量を確認できること。	オンライン	○	○	
59	発動指令電源提供者の電源等リストの登録・変更・削除	電源等リスト情報管理機能	電源等リスト提出管理	・電源等リストの受付開始・終了についてメール通知できること。 ・期限（電源等リストの受付終了〇日前等、広域機関が定めた催促の期限）までに電源等リストの登録が完了していない場合にメールにて電源等リストの登録依頼ができること。	オンライン	○	○		
60			電源等リスト情報照会	・広域機関及び事業者が電源等リスト情報を抽出できること。	オンライン	○	○		
61			電源等リスト情報登録申込	・広域機関及び事業者が電源等リストの受付期間中のみ登録申込できること。（添付ファイル含む） ・事業者が応札上限値情報登録済みの電源に対し電源等リスト情報の登録申込ができること。 ・事業者が複数の電源等リストを一括で登録申込できること。 ・電源等リスト情報の申込を受付けた場合、あらかじめ登録している広域機関の担当者にメール通知できること。 ・過去の登録情報（申込情報含む）をコピーして新たな電源等リスト情報として登録することができること。 ・電源等リストの内訳に記載された電源または需要家の情報を、電源等リストをアップロードすることで登録できること。	オンライン	○	○	・電源等リスト情報の項目詳細は、業務詳細設計書の業務仕様書「電源等リストの審査：電源等リストの(再)提出」及び主な情報・データ一覧を参照のこと。	
62			電源等リスト情報変更申込	・広域機関及び事業者が電源等リストの受付期間中のみ変更申込できること。ただし、電源等リストの審査にて不合格になった場合においては、受付期間中を超えて変更できること。 ・事業者が申込中又は登録済みの電源等リスト情報について、必要な事項の変更申込ができること。 ・事業者が複数の電源等リストを一括で変更申込できること。 ・電源等リスト情報の変更申込を受付けた場合、あらかじめ登録している広域機関の担当者にメール通知できること。 ・広域機関による電源等リストの審査中は電源等リスト情報の変更ができないこと。 ・審査不要項目の変更申込の場合は変更内容を即時に反映できること。	オンライン	○	○		
63			電源等リスト情報削除申込	・広域機関及び事業者が電源等リストの受付期間中のみ削除申込できること。 ・事業者が申込中又は登録済みの電源等リスト情報について、削除申込できること。 ・広域機関による電源等リストの審査中は電源等リスト情報の削除申込ができないこと。 ・オークション実施中の対象情報に対する削除申込できないこと。 ・実効性テスト実施確定日時が登録された電源の場合削除は不可とすること。	オンライン	○	○		
64	×	電源等リスト妥当性確認機能	電源等リスト妥当性確認	・広域機関が事業者から提出された電源等リストについて、以下を審査できること。 －電源 ・「実需給の前々年度発動実績の利用の希望有無」が有の場合、提出されたリスト内訳に、前々年度実績のリストが登録されていることを確認できること。 ・「エリア名」について、電源情報登録時に登録されたエリア名と同じであることを確認すること。 ・運開年月が2010年度末以前であれば経過措置対象電源と登録できるようにすること。 －需要家 ・「エリア名」について、電源情報登録時に登録されたエリア名と同じであることを確認すること。	オンライン		○	・業務詳細設計書の業務仕様書「電源等リストの審査：電源等リスト妥当性の審査」を参照のこと。	

No	関連業務	機能分類	機能名	処理（共通要件以外の機能を記載）	処理方式	システム利用者区分		特記事項	
						事業者	広域機関		
65	イン オー クシ ョン 後 の 実 効 性 テ ス ト ・ 追 加 オ ー ク シ ョン 前 の 実 効 性 テ ス ト	電源等リスト情報審査	電源等リスト重複確認機能	電源等リスト重複確認	・登録された電源等リスト情報が重複していないことを確認できること。	オンライン		○	・確認内容については、業務詳細設計書の業務仕様書「電源等リストの審査：電源等リストの重複の審査」を参照のこと。
66			審査開始	・広域機関が電源等リスト情報の審査にあたり、申込のあった電源等リストに対し、審査申込状況を一括で審査中に変更できること。 ・電源等リストの申込内容について、あらかじめ登録している一般送配電事業者にメール通知できること。	オンライン		○	・一般送配電事業者へのメール通知は受付締切後、一括で確認依頼を行う想定。	
67			審査申込状況一覧照会	・広域機関及び事業者が電源等リスト情報登録、電源等リスト情報変更登録、電源等リスト情報削除の申込中、審査中、合格、不合格等の状況を一覧で確認できること。 ・広域機関及び事業者が申込内容を照会できること。	オンライン	○	○		
68			電源等リスト情報審査管理機能	審査結果登録	・広域機関が申込中の電源等リスト情報について、審査結果（合格、条件付合格、不合格、無効）を登録できること。 ・審査結果反映前まで登録内容の変更ができること。 ・一覧から審査結果を一括で登録できること。	オンライン		○	
69			審査結果情報反映	・「審査結果情報登録」にて登録した審査結果について反映すること。 ・審査結果が合格である場合には申込中の電源等リストを正式な登録とすること。 ・審査結果情報の反映については、原則、バッチ処理での反映とするが、広域機関が手動で即時に反映することも可能とすること。 ・審査結果情報反映した場合、事業者ユーザにメール通知できること。 ・審査結果情報反映日を指定できること。	バッチ・オンライン		○		
70	メイン オー クシ ョン 後 の 実 効 性 テ ス ト ・ 追 加 オ ー ク シ ョン 前 の 実 効 性 テ ス ト	実効性テスト実施管理機能	実効性テストの実施予定日登録	・広域機関が実効性テスト実施確定時期の調整依頼を一般送配電事業者と発動指令電源提供者に依頼し、2事業者にメール通知(予定調整のメール通知)できること。 ・広域機関及び事業者が電源等リスト確認後実効性テストの日時が確定したら、実効性テストの日時を登録・変更・取消できること。 ・実行テスト日時が登録された場合、あらかじめ登録している広域機関、一般送配電事業者及び事業者の担当者にメール通知できること。	オンライン	○	○		
71			実効性テストの実施及びデータ提出依頼	・実効性テスト日時登録が登録された後、実効性テストの実施及びデータ提供依頼のメール通知が実行できること。 ・実効性テストの実施予定日が経過した場合で、結果登録がない場合、結果登録を促すメール通知が実行できること。	オンライン	○	○		
72			実効性テストの結果登録	・事業者が実効性テストの結果（添付ファイル含む）を登録できること。 ・登録対象の電源等リストについて、選択できること。 ・複数の実効性テスト結果（添付ファイル含む）を一括で登録できること。 ・実効性テスト結果が登録された場合、あらかじめ登録している広域機関の担当者にメール通知できること。	オンライン	○	○		
73			実効性テストの結果変更	・事業者が登録済みの実効性テスト結果（添付ファイル含む）について、変更登録できること。 ・一括で変更登録できること。 ・結果情報を変更登録された場合、あらかじめ登録している広域機関の担当者にメール通知できること。	オンライン	○	○		
74			実効性テストの結果削除	・広域機関が登録済みの実効性テスト結果について、削除できること。	オンライン		○		
75	メイン オー クシ ョン 後 の 実 効 性 テ ス ト ・ 追 加 オ ー ク シ ョン 向 け 実 効 性 テ ス ト	実効性テスト結果管理機能	実効性テストの結果確認	・広域機関及び一般送配電事業者が実効性テスト結果を確認できること。 ・一般送配電事業者向けに実効性テスト結果を出力できること。	オンライン		○		
76		期待容量算出機能	電源・需要家の期待容量の算出	・実効性テスト結果から電源等リスト内の各電源または需要家の期待容量を算出できること。 【算出方法 非安定自家発以外の電源】 ・実効性テスト結果の発電量 \geq 電源等リストの審査で確定した期待容量の場合、期待容量の変更なし ・実効性テスト結果の発電量 \geq 電源等リストの審査で確定した期待容量の場合、発電量を期待容量とする。 【算出方法 非安定自家発の電源】 ・実効性テスト結果の発電量を期待容量とする。 【算出方法 需要家】 ・実効性テスト結果の抑制量を期待容量とする。	オンライン		○	・期待容量の算出については業務詳細設計書の業務仕様書「落札容量確定のための実効性テスト：電源・需要家の期待容量算出」、「期待容量確定のための実効性テスト：期待容量の確定」を参照のこと。なお、発動実績を利用する場合の電源等リストのチェック機能は一次開発のシステム化対象外とする。	
77			電源等リストの期待容量の算出	・電源等リストの期待容量を算出できること。 ・算出した期待容量について、対象の事業者へメール通知できること。 【算出方法】 ・電源等リストにL5評価対象の電源が含まれる場合、電源等リストの審査時に確定された各電源の期待容量を確認し、次のとおり期待容量を算出する。 電源等リストの期待容量 = Σ 実効性テスト結果から算出された各電源（L5評価対象外）の期待容量 + Σ 実効性テスト結果から算出された各需要家の期待容量 + Σ L5評価対象の各電源の期待容量 ・電源等リストの期待容量が1,000kW未満の場合は、期待容量を0（ゼロ）とする。	オンライン		○	・期待容量の算出については業務詳細設計書の業務仕様書「落札容量確定のための実効性テスト：電源等リストの期待容量の算出」、「期待容量確定のための実効性テスト：期待容量の確定」を参照のこと。なお、発動実績を利用して電源等リストの期待容量を算出する場合については、一次開発のシステム化対象外とする。	
78		落札容量確定機能 (落札容量確定のための実効性テストのみ)	落札容量確定	・容量確保契約締結済みの落札容量との比較の結果、以下処理を行うこと。 【電源等リストの期待容量 \geq 落札容量の場合】落札容量を変更せず確定させる。 【電源等リストの期待容量 < 落札容量の場合】電源等リストの期待容量を落札容量として登録すること。 ・実効性テストの結果確定した落札容量について、容量確保契約を有する発動指令電源提供者へ確定容量確保契約量をメール通知できること。	オンライン		○	・業務詳細設計書の業務仕様書「落札容量確定のための実効性テスト：落札容量に変更なく確定・落札容量を変更し確定」を参照のこと。	

No	関連業務	機能分類	機能名	処理（共通要件以外の機能を記載）	処理方式	システム利用者区分		特記事項	
						事業者	広域機関		
79	調整電源に指示できる契約の確認	調整電源確認機能	調整電源確認機能	・広域機関が調整機能を有する電源の一覧を作成できること。 ・広域機関が調整機能を有する電源のうち、調整電源に指示できる契約締結情報の登録がない電源情報を抽出することができること。 ・抽出した電源情報を保持する事業者に対しメール通知できること。（スケジュール管理機能にて連絡期限までに契約締結が無い対象社に自動でメール通知できること。）	オンライン		○		
80	電源情報の追加登録	未提出電源情報確認機能	未提出電源情報確認機能	・広域機関が電源情報が不足（未提出書類等がある電源情報）している電源の一覧を作成できること。 ・抽出した電源情報を保持する事業者に対しメール通知できること。	オンライン		○		
81	FIT適用の落札事業者の市場退出	FIT適用有無電源情報確認機能	FIT適用有無電源情報確認機能	・広域機関が運用年度が2012年7月以降の電源、またはバイオマス混焼有無が有となっている電源の一覧を作成できること。 ・抽出した電源情報を保持する事業者に対しメール通知できること。	オンライン		○		
82	調整電源に指示できる契約の確認	電源差替管理機能	差替掲示板	・差替掲示板を設けること。 ・広域機関及び事業者が差替先電源として掲示板に掲載されている情報を照会できること。 ・実需給年度、差替容量、提供エリア等で検索ができること。	オンライン		○	○	・電源差替の内容については、業務詳細設計書の業務仕様書「電源差替対応：差替掲示板へのリスト掲載」を参照のこと。
83			差替先電源掲示依頼登録申込	・広域機関及び事業者が、差替先としての掲載の依頼ができること。 ・添付ファイルの登録も可能とすること。 ・依頼を受付た際にあらかじめ登録している広域機関の担当者にメール通知できること。 ・全量及び部分差替（1:N、N;1など）が可能であること。	オンライン		○	○	・差替先の掲載依頼する際の登録項目については、業務詳細設計書の業務仕様書「電源差替対応：差替掲示板への掲載依頼を参照のこと。 ・差替先として掲示依頼できる電源については、業務詳細設計書の業務仕様書「電源差替対応：差替先の審査」を参照のこと。
84			差替先電源掲示依頼変更	・広域機関及び事業者が自社の差替先掲載依頼中かつ広域機関による審査開始前の電源に対し、掲載依頼内容を変更できること。	オンライン		○	○	
85			差替先電源掲示依頼取消	・広域機関及び事業者が自社の差替先掲載依頼中かつ広域機関による審査開始前の電源に対し、掲載依頼を取消できること。	オンライン		○	○	
86			差替先電源掲示	・広域機関が差替先リスト掲載審査に合格した場合、差替掲示板に掲載できること。	オンライン			○	
87			差替申込	・広域機関及び事業者が自社の落札電源から電源差替を希望する電源と、差替先となる電源を合わせて申請できること。 ・複数の申請を一括で登録できること。 ・全量及び部分差替（1:N、N;1など）が可能であること。	オンライン		○	○	・差替申込可能な条件については、業務詳細設計書の業務仕様書「電源差替対応：差替先候補の登録」を参照のこと。
88			差替申込変更	・広域機関及び事業者が自社の広域機関による審査開始前の差替元電源申込内容について、申込内容を変更できること。	オンライン		○	○	
89			差替申込取消	・広域機関及び事業者が自社の広域機関による審査開始前の差替元電源申込内容について、申込を取消できること。	オンライン		○	○	
90			電源差替状況一覧	・広域機関及び事業者が差替元及び差替先電源として申請した電源を一覧で抽出できること。 ・差替元及び差替先電源として申請した履歴及びその結果について確認できること。（申請中、掲載中、却下、差替済み等の状況が確認できること。）	オンライン		○	○	
91			差替先審査申込状況一覧	・広域機関及び事業者が差替先掲載依頼（受付中、審査中、合格（掲載）、不合格）の状況を一覧で確認できること。 ・広域機関が一覧から一括で審査中に変更できること。 ・広域機関及び事業者が申込内容を照会できること。	オンライン		○	○	
92			差替先リスト掲載審査結果登録	・広域機関が事業者から差替先として掲載依頼を受けた電源に対し、審査結果（合格（掲載）、不合格）を登録できること。 ・登録中の差替先リスト掲載審査結果登録について、反映前の審査結果を変更できること。 ・広域機関が一覧から審査結果を一括で登録できること。	オンライン			○	
93			差替先リスト掲載審査結果反映	・広域機関が登録済みの差替先リスト掲載審査結果について反映すること。 ・審査結果が合格であった場合に差替掲示板に掲載すること。 ・審査結果について事業者ユーザにメール通知できること。	オンライン			○	
94			電源差替審査申込状況一覧	・広域機関及び事業者が差替依頼（受付中、審査中、合格、不合格）の状況を一覧で確認できること。 ・広域機関が一覧から審査中に変更できること。 ・広域機関及び事業者が申込内容を照会できること。	オンライン		○	○	
95			電源差替審査結果登録	・広域機関が事業者から差替申込を受けた電源に対し、審査結果（合格、条件付合格、不合格、無効）を登録できること。 ・登録中の電源差替審査結果について、反映前の審査結果を変更できること。 ・広域機関は一覧から審査結果を一括で登録できること。	オンライン			○	○
96	電源差替審査結果反映	・登録済みの審査結果について反映すること。 ・審査結果の反映については、原則、バッチ処理での反映とするが、広域機関が手動で即時に反映することも可能とすること。 ・審査結果反映した場合、事業者ユーザにメール通知できること。	バッチ・オンライン			○			

No	関連業務	機能分類	機能名	処理（共通要件以外の機能を記載）	処理方式	システム利用者区分		特記事項	
						事業者	広域機関		
97	実需給前のペナルティ対応（市場退出時のペナルティ） 実需給前のペナルティ対応（実効性テスト後のペナルティ）	契約管理連携機能	電源差替結果登録	・広域機関が電源差替の内容及び、容量確保契約の変更契約が完了した後、電源差替結果（合格、条件付合格、不合格、無効）として登録できること。 ・電源差替結果に基づき、各容量を更新すること。	オンライン		○	・電源差替の変更契約の締結後の登録内容及び差替可能容量の算出については、業務詳細設計書の業務仕様書「電源差替対応：電源差替結果の登録」を参照のこと。	
98			変更契約書作成	・電源差替が成立した内容に基づき、容量確保契約の変更契約書を作成できること。	オンライン		○		
99		ペナルティ管理機能	退出表明	・事業者が契約中の電源の一部又は全部の変更を申し込めること。 ・変更の申込があった場合、あらかじめ登録している広域機関の担当者にメール通知できること。	オンライン	○			
100			経済的ペナルティ額の算出	・落札事業者が市場退出する場合、経済的ペナルティ額を算出すること。	バッチ・オンライン		○	・経済的ペナルティの算出については業務詳細設計書の業務仕様書「実需給前のペナルティ対応（市場退出時のペナルティ）：経済的ペナルティ額の算出」及び「実需給前のペナルティ対応（実効性テスト後のペナルティ）：経済的ペナルティ額の算出」を参照のこと。	
101			返金額の算出	・市場退出時の経済的ペナルティを支払った参加登録申請者への返金額を算出すること。	バッチ・オンライン		○	・返金額の算出については業務詳細設計書の業務仕様書「実需給前のペナルティ対応（市場退出時のペナルティ）：返金額の算出」及び「実需給前のペナルティ対応（実効性テスト後のペナルティ）：返金額の算出」を参照のこと。	
102			ペナルティ通知書の作成	・経済的ペナルティ額の算出にて算出された金額を基にペナルティ通知書を作成すること。 ・フォーム（ひな形）に、ペナルティ情報（落札を管理する番号、事業者情報等）を自動で取り込み、PDFフォーマット等を作成できること。 ・作成した通知書について広域機関が手動で修正できること。	バッチ・オンライン		○		
103			ペナルティ通知書の送付	・広域機関及び事業者が作成したペナルティ通知書を画面上での確認及びメール通知できること。	オンライン	○	○		
104			ペナルティの記録・照会	・ペナルティの適用状況や履歴を記録・管理・照会できること。	オンライン		○		
105			経済的ペナルティの請求書発行	・経済的ペナルティの請求書を作成できること。 ・フォーム（ひな形）に、ペナルティ情報（落札を管理する番号、事業者情報等）を自動で取り込み、PDFフォーマット等を作成できること。	オンライン		○		
106			経済的ペナルティの精算書発行	・経済的ペナルティの精算書（追加オークションの開催により経済的ペナルティの額が確定し、広域機関から事業者に対し返金が発生した際の精算結果を記した精算書）を作成できること。 ・フォーム（ひな形）に、ペナルティ情報（落札を管理する番号、事業者情報、精算結果等）を自動で取り込み、PDFフォーマット等を作成できること。	オンライン		○		
107			入出金状況の管理	・入出金予定日について入出金額、予定日、入出金事業者等の情報を一覧で登録・表示・確認できること ・入出金が確認できた場合に、入出金確認した履歴を記録できること。 ・未入金のある事業者がある場合、連絡先に入金督促のメール等を送付できること。 ・また、その場合に入金督促の履歴について記録できること。	オンライン		○		
108			経理処理状況の管理	・経済的ペナルティの請求・支払情報について、指定期間（年月日）の範囲で一覧を検索・表示できること。 ・表示したデータをダウンロードできること。	オンライン		○		
109		情報公開	お知らせ機能	お知らせ登録機能	・広域機関が任意の文字列及び添付ファイルを入力し、特定の画面で公表できること。 ・添付ファイルの登録も可能とすること。 ・お知らせを登録した場合に更新した旨メール通知できること。 ・メール通知するか否か選択できること。	オンライン		○	・情報公開について、どのような内容を公開するかは、業務詳細設計書の業務仕様書「情報公開」を参照のこと。
110				お知らせ編集機能	・登録済みのお知らせ（添付ファイル含む）を変更できること。 ・お知らせを変更した場合に更新した旨メール通知できること。 ・メール通知するか否か選択できること。	オンライン		○	
111	お知らせ削除機能			・登録済みのお知らせ（添付ファイル含む）を削除できること。	オンライン		○		
112	お知らせ表示機能			・広域機関が登録したお知らせを確認できること。 ・お知らせは表示期間を設定し、表示／非表示を切り替えられること。 ・お知らせを表示期間等で検索可能であること。	オンライン		○		
113			事業者情報登録申込期間設定	・広域機関が事業者情報登録申込・変更申込・取消申込の受付期間を設定（登録・変更・削除）できること。	オンライン		○		
114			電源情報登録申込期間設定	・広域機関が電源情報登録申込・変更申込・取消申込の受付期間を設定（登録・変更・削除）できること。	オンライン		○		
115			応札上限値情報期間設定（登録・変更・削除）機能	・オークション毎に応札上限値情報の登録可能期間を設定（登録・変更・削除）できること。 ・対象者を絞って設定も可能とすること。	バッチ・オンライン		○		
116			オークション期間設定（登録・変更・削除）機能	・オークション期間（開始日時・終了日時）を設定（登録・変更・削除）できること。（オークション毎に） ・対象者を絞って設定も可能とすること。	バッチ・オンライン		○		

No	関連業務	機能分類	機能名	処理（共通要件以外の機能を記載）	処理方式	システム利用者区分		特記事項	
						事業者	広域機関		
117	システム運用	スケジュール管理機能	電源等リスト受付期間設定（登録・変更・削除）機能	・電源等リスト受付期間（開始日時・終了日時）を設定（登録・変更・削除）できること。（オークション毎に） ・電源等リストの変更可能期間について設定できること。 ・対象者を絞って設定も可能すること。	バッチ・オンライン		○		
118			実効性テスト実施結果受付期間設定（登録・変更・削除）機能	・実効性テスト実施結果の受付期間（開始日時・終了日時）を設定（登録・変更・削除）できること。 ・対象者を絞って設定も可能すること。	オンライン		○		
119			調整電源に指示できる契約締結期限設定（登録・変更・削除）機能	・調整電源に指示できる契約の締結期限（終了日時）、及び連絡期限を設定（登録・変更・削除）できること。	オンライン			○	
120		スケジュール管理機能	・事業者情報登録申込期間設定、電源情報登録申込期間設定、応札上限値情報期間設定、オークション期間設定、電源等リスト受付期間設定、実効性テスト実施結果受付期間設定、調整電源に指示できる契約締結期限設定機能に基づき、スケジュールを制御できること。 ・手動で応札受付開始・終了ができること。	オンライン			○		
121		マスタ管理機能	銘柄マスタ管理機能	・オークション銘柄を設定できること。	オンライン			○	・オークション銘柄の情報については、別紙7.「主な情報・データ一覧」を参照のこと。
122	経過措置管理機能		・広域機関が経過措置の経過措置係数を設定できること。	オンライン			○	・容量市場開設時点の控除率は、経過措置起算時点以前に建設された全ての電源（旧既設電源）の7割とし、2020年以降、段階的に減少させていくこととする。	
123	その他	履歴管理機能	データ履歴管理機能	・データ（応札上限値・応札・落札等）の確定時に履歴を残すこと。	オンライン			○	
124			作業履歴管理機能	・データ登録等の作業履歴を残すこと	オンライン			○	
125			送信・確認履歴管理機能	・メール送信・確認等の履歴を残すこと	オンライン			○	
126		容量算出機能	応札上限値自動算出機能	・応札上限値を自動算出できること。 ・メインオークション時の応札上限値は期待容量とすること。	オンライン			○	・応札上限値の算出については業務詳細設計書の業務仕様書「追加オークションの実施(買入札)：オークション参加資格証明書の発行」、及び「追加オークションの実施(売入札)：追加オークション参加資格証明書の発行」を参照のこと。
127			期待容量自動算出機能	・期待容量を自動算出できること。	オンライン			○	・期待容量の算出については業務詳細設計書「落札容量確定のための実効性テスト：電源・需要家の期待容量の算出」及び「落札容量確定のための実効性テスト：電源等リストの期待容量の算出および確定」を参照のこと。
128	差替可能容量自動算出機能		・差替可能容量を自動算出できること。	オンライン			○	・差替可能容量の算出については業務詳細設計書「電源差替対応：電源差替結果の登録」を参照のこと。	
129	メール通知機能	メール発信（手動）	・メール通知を希望する利用者に対し、メールによる通知を行うことができること。 ・事業者を選択し、個別にメールを送信できること。 ・事業者を複数選択し、一斉にメールを送信できること。	オンライン			○		
130		メール通知（自動）	・メール通知を希望する利用者に対し、メールによる通知を行うことができること。 ・登録・受付等、所定の処理に伴いメール通知を行う場合、処理に合わせて自動的にメール通知を行う機能を有すること。 ・所定の処理に伴いメール通知先も異なることから、当該通知先を管理できることが望ましい。	オンライン			○		
131		メール発信履歴機能	・手動・自動のメール発信の履歴（送信日時・送信内容・送信完了/未完了等）を表示・検索する機能を有すること。なお、本機能については、メールサーバ上の履歴を表示・検索できる管理ツール等で実現することも可能とする。	オンライン				○	
132		メールテンプレート管理機能	・メール本文をテンプレートとして準備できることが望ましい。	オンライン				○	
133		メールスケジューリング機能	・メール通知について、予め通知タイミングを登録できること。 (例) 応札受付開始の場合には、○日前に全参加登録申請者にメール通知 電源等リストの受付期限の場合には、1ヶ月前に全電源等リストの提出が必要な対象者にメール通知、1週間前、3日前等に未提出者に対しメール通知する等	オンライン				○	
134	ログイン認証機能	ログイン	・広域機関の指定する電子証明書について、「電子証明書チェック」を実施し、ユーザID及びパスワードによる認証を行った後ログインできること。	オンライン		○	○	・実装に係る具体例は以下を想定 ①1サイト内で実現 ②ログイン認証は別サイトで実施し、SAML連携により実現	
135		ログアウト	・ログアウトできること。	オンライン		○	○		
136	パスワード変更機能	パスワード変更	・容量市場システムを利用するユーザのパスワードを変更できること。 ・パスワードの設定要件として、以下が可能であること ◇英文字、数字、記号を含む、8文字以上の文字列 ・初回ログイン時にパスワードの強制変更が可能であること。	オンライン		○	○		

No	関連業務	機能分類	機能名	処理（共通要件以外の機能を記載）	処理方式	システム利用者区分		特記事項
						事業者	広域機関	
137		電子証明書チェック機能	電子証明書チェック	・電子証明書について、正当（予め指定された証明書発行機関から発行されたもの）かつ有効（当該電子証明書がCRLに記載されて失効していない等）な電子証明書であることを確認すること。 ・電子証明書について、接続は許可された事業者のみとするため、予め登録された事業者の電子証明書（事業者コード及びシリアルNo.にて確認）であるかどうかを確認すること。	オンライン		○	・電子証明書は、一つの証明書を共同利用する場合がある。
138		法人番号チェック機能	法人番号チェック	・参加登録申請及び電源等リストの審査において、法人番号をもとに法人番号公表サイトへアクセスのうえ法人登録の有無を確認すること。	オンライン		○	
139		マスキング機能	マスキング	・画面表示時及びファイル出力時に特定の情報項目をマスキングできること。	オンライン		○	・マスキング対象について設計工程で確定する。